



日新サミットでは、小中学生と地域の大人がテーブルを囲み「私たちでつくる、私たちのふるさと」をテーマに議論が展開。(日新中学校本部)



箒川リフレッシュ大作戦。地元の漁協や消防署など地域から80人以上が参加し、清掃活動やマスクかみが行われた。(塩原小中学校本部)



ボランティア部の22人が、保育園や老人福祉施設、図書館などでボランティア活動を行っている。(黒磯北中学校本部)



中学生と小学生、そして地域住民と一緒にプランターに花を植える花いっぱい運動。(三島中学校本部)



多くの大人たちの手により、子育ては支えられてきた。学校でもこれまで生活科や総合的な学習の時間などに、地域の人と交流してきた。お手玉など昔の遊びを高齢者から学んだり、地域のひとと一緒に田植えや稲刈りをしたりといった経験がある人も少なくないだろう。

しかし、近年、核家族の増加や地域社会のつながりの希薄化などにより、保護者が抱える子育ての不安も増加。学校内でもいじめや不登校などの問題が顕在化し、学校だけでは対処が難しいことも多くなり、地域全体で子どもたちを育てる体制づくりがより一層求められている。

そこで、学校と地域のつなぎ役の人材を育成し、学校に関わる地域住民や団体の横のつながりを広げ、中学校区をつの単位とし、一体となって子どもを育む取り組み(地域学校協働本部)が始まっている。昨年度は、黒磯北・三島・塩原小中学校区で活動が開始。今年も新たに西那須野・日新・東那須野中学校区が加わった。

大人と子どもの盛んな交流が、子どもたちに健やかな成長をもたらす。そして、交流が盛んになることで、地域に新たな息吹が生まれる。そのような願いが込められ、子どもを中心とした新たな地域づくりの取り組みが進められている。

さまざまな大人に支えられながら、子どもたちにすくすくと育ってほしい。そんな思いが詰まった活動が市内各地で始まっている。

その活動を後押しするのが地域学校協働本部事業。

子どもたち、そして地域をつなぎ、明るい未来が拓けるように――。

学 校だけでなく、家庭はもちろん、広い社会の中で多様な人たちに見守られ、支えられながら成長していく子どもたち。一緒に暮らすおじいちゃんやおばあちゃん、隣近所のおじさん、おばさん、地域の育成会など、

地域の中で 子どもたちに 生き生きと 育ってほしい

地域学校協働本部 子どもと大人の交流が盛んな地域づくりを通じて、子どもたちの健やかな成長を目指します。



《本部会議》
PTAや民生委員・児童委員・コミュニティや自治会など、幅広い地域の皆さんと学校・公民館などが活動方針を協議。



市指定文化財である三本木の獅子舞を地域の人から教わるクラブ活動*。(東那須野中学校本部)

*クラブ活動：部活動と異なり、教育課程の一環で行われる文化活動や体育活動など。



中学生が小学校に出向き、元気いっぱいに朝のあいさつを交わす。(西那須野中学校本部)

